

# 民生福祉常任委員会視察報告書

参加委員：吉永美子委員長、山田伸幸副委員長、大井淳一郎委員、  
杉本保喜委員、恒松恵子委員、松尾数則委員、矢田松夫委員

視察日：平成30年11月7日

視察先：大分県国東市

視察内容：空き家バンク

報告事項：

## 1 視察の目的

平成29年度に本市が行った空家等実態調査によると、市内に1269戸の空き家が存在し、そのうち106戸が利活用可能な状態にある。持続可能なまちづくりを実現するためには人口減少を食い止める必要があり、そのための方策として空き家バンクが有効である。そこで、本市と同様に人口減少の課題を抱えつつも、解決に向けて空き家バンク等で実績をあげている国東市を視察した。

## 2 視察先の状況

空き家の有効活用及び市外在住者の本市への移住・定住により、地域の集落機能の維持等を図ることを目的に実施している。登録物件は69件、事業費は1060万円である。登録物件数を増やすため6年前に現地調査を行い、現在では回覧や固定資産税納税通知書にチラシを同封するなどの周知をしている。その他の移住支援策や起業支援策が充実していることもあり、一昨年度が37人、昨年度には74人の移住につながっている。また、地域起こし協力隊を活用している点が特徴的で、日常活動を通じての情報収集、物件の現地説明、移住者へのアフターフォローなど活動は多岐にわたる。

## 3 考察

国東市の人口減少率は県下最大で、2040年には2万人を割る推計になっているためか、危機感が政策にあらわれていると感じた。特に、地域起こし協力隊の活動が旺盛で、とても参考になった。本市は10月に空家等対策基本計画を策定し、空き家バンクの活用についても明記されている。この計画が絵に描いた餅にならないよう、今後も調査提言していく。